

事業所名

ひかり三春教室

支援プログラム

作成日

R7

年

2

月

5

日

法人（事業所）理念	一人ひとりの様々なかたちでの「自己現実」を目指して、自己現実が叶うよう、職員一人ひとりが丁寧にお手伝いさせていただきます。		
支援方針	「お子さんたちが、1日楽しかった」と本当に思ってもらえるように。 「お子さんをほめる、注意するタイミング。」を大事に間違えないように。 「お子さんを、泣かせない」他のお子さんも不安にさせないためにも。		
営業時間	9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の習得（トイレ・着替え・食事等）・身だしなみのチェック ・事業所内の生活リズムの理解・安定 ・健康状態の把握・家庭との共有 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹トレーニングを取り入れ、姿勢保持を図り、物事に落ち着き、集中して取り組めるように支援。 ・バランス感覚を養う活動を行う事で、危機回避が出来る体作りと転倒の予防に繋げていく。 ・指先の感覚を鍛える事で、筆圧の向上や器用さを養っていく。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動にゲーム等を取り入れながら、順番を待つなどの簡単なルールの理解から集団生活のルールの理解に繋げていく。 ・季節・行事の製作から季節感を感じられるようになる。 ・活動の中で色々な物に触れる事によって、物に対する感覚（色・形・重さ）等を覚えていく。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所生活において、言葉でのコミュニケーションを多く用いる事によって言葉に触れ、言葉での表出に繋げていく。 ・言葉の意味・使い方などが理解できるように、簡単な言葉でのやり取りや丁寧な言葉使いを意識して支援にあたる。 ・意思の決定が難しい子には、選択肢のある質問・問いかけをしながら、意思の表出を促しコミュニケーションが取れるように支援する。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人との正しい距離感を日常生活の中で伝える事によって、距離感の理解に繋げていく。 ・一人での遊びから共同遊びへの移行を職員が間に入り、声掛けを行いながら他者との関わり方を身に付けていく。 ・集団生活のルールを覚えながら、みんなで一緒に取り組む協調性を養っていく。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族面談による現状の共有と適切な助言 ・障がいの特性に配慮した家庭環境の整備 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> （放課後児童クラブ等への移行支援） ・進学先・就労先との情報共有・進学 ・就労等、環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助 ・障がい児相談支援事業所や他の障がい児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・採用時研修（採用後2か月以内に実施）・継続研修（年1回以上実施） ・ケース検討会（月1回程度実施）・外部研修 ・資格取得の支援
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・各季節イベント行事・調理提供 ・外出訓練（遠足・買い物等）・就労継続支援事業所等の見学 ・サービス提供時間 月曜日～金曜日 14時～17時30分 土曜日・祝日・長期休暇中：8時30分～14時30分（ご家族の仕事の都合により、延長支援を行う場合があります。） 		